



## 資料2 用語説明

### あ行

#### ISO14001

ISO（国際標準化機構）が定めた環境管理に関する国際規格で、環境負荷の低減につながる仕組みが継続的に運用されるシステムを構築するために要求される規格のことをいう。

#### 一般廃棄物

一般廃棄物は「ごみ」と「し尿」に分類され、「ごみ」については家庭から出されるごみの他、事業所から出されるごみのうち産業廃棄物として定められている以外のもの（飲食店からの厨芥や事務所から紙ごみ等）をいう。

#### 宇治市廃棄物減量等推進審議会

「宇治市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」により定められた、本市における一般廃棄物の減量等に関する事項について審議するための機関。

#### 温室効果ガス

大気中の二酸化炭素やメタンなどの気体が、太陽光線の熱を吸収した地表面から反射する赤外線を吸収し、地球を暖める現象を温室効果といい、こうした効果をもたらす気体を温室効果ガスという。

### か行

#### 家庭系ごみ

家庭から排出される廃棄物のこと。

#### 可燃ごみ

焼却施設で直接焼却できる廃棄物のこと。本市では、台所のごみ、紙くず、少量の剪定枝・木くず、紙おむつ、食用油、煙草の吸い殻などが対象となる。

#### グリーンコンシューマー

買い物をする際に「必要なものを必要な量だけ買う」、「長く使えるものを選ぶ」、「リサイクルされるものを選ぶ」等、環境への配慮を念頭に置いて行動する消費者のこと。

#### KES

「環境マネジメントシステム」の規格。環境マネジメントシステムには国際規格のISO14001があるが、中小企業には人、物、金等の経営資源の問題により取得が困難であることから、より分かりやすく取り組みやすい規格として開発されたもの。

## さ行

### 最終処分

廃棄物を埋立や海洋投棄などにより処分すること。最終処分場とは、一般的に廃棄物を埋立てる場所のこと。

### 産業廃棄物

事業活動に伴い排出される廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、廃プラスチック類など廃棄物処理法で定められた 20 種類の廃棄物をいう。

### 事業系ごみ

事業活動に伴って排出される廃棄物のこと。

### 資源ごみ

再資源化できる廃棄物のこと。本市では、びん、ペットボトル、発泡トレー類、缶、紙パック、新聞・雑誌・ダンボール・古布が対象となる。

### 集団回収

ごみの減量や資源の有効活用を目的として、町内会・自治会、マンション等の管理組合、子ども会、育友会などが、家庭から出た新聞、雑誌、段ボールなどの資源をグループで自主的に回収する活動のこと。

### 3R（スリーアール、さんあーる）

廃棄物をできるだけ出さない社会をつくるための基本的な考え方。Reduce（リデュース：廃棄物の発生を抑制する）、Reuse（リユース：再使用する）、Recycle（リサイクル：再生利用する）の頭文字を取った略称。

## た行

### 地球温暖化

人間の活動の拡大により二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの濃度が増加し、地表面の温度が上昇すること。温室効果ガスの濃度上昇の最大の原因は、石炭、石油等の化石燃料の燃焼であり、さらに大気中の炭素を吸収貯蔵する森林の減少がそれを助長しているといわれている。

### 中間処理

廃棄物の収集運搬と最終処分の際に、減量化、安定化のために行う破砕、脱水、焼却などの処理のこと。

### 適正処理困難物

家庭から排出される廃棄物の中で、市の指定する施設で適正な処理が困難なもの。本市では、タイヤ、バッテリー、消火器、ガソリン、灯油、コンクリート、農薬などが対象となり、購入された店、専門の業者に問い合わせの上、適正に処理するように求めている。

## は行

### 不燃ごみ

燃えないまたは直接焼却できない廃棄物のこと。本市では、金属類、陶磁器類、プラスチック・ビニール類、小型家具（木製のものでも）、灰、ふとん、自転車、ガラス・電球・コップなどが対象となる。

## や行

### 熔融メタル

焼却灰を高温で熔融する際に生成される金属。熔融メタルからは、再熔融後、金、銀、銅などが抽出されている。

### 熔融スラグ

焼却灰を高温で熔融したガラス状の物質。熔融スラグは、アスファルト資材や路盤材にリサイクルされている。